

自由民主党 吉川市議員団団報

Vol.29

発行：自由民主党吉川市議員団

発行責任者：松崎 誠

連絡先：<http://www.jimin-mirai.jp/>
<http://ameblo.jp/jimin-mirai/>



9月定例会 平成29年度決算認定 歳入278億3323万1千円
歳出272億4131万6千円
条例5件・決算認定8件・補正予算4件・契約1件・人事案件2件、すべてにおいて可決

平成29年度決算額については、歳入総額278億3323万1千円、歳出総額272億4131万6千円となり、歳入歳出差引残高は5億9191万5千円となりました。歳入につきましては、前年度に比べ、65億914万2千円増となり、歳出につきましては、64億8982万4千円増となっております。歳入の特徴として人口増加に伴う個人市民税が前年度比約1億4900万円増、固定資産税約4050万円増となる一方で、法人市民税が約900万円減、市たばこ税が約2300万円減となっております。全国的に人口が減少する中で、本市では毎年人口が増加傾向にあり今後も税収増が見込まれている一方で、吉川美南駅東口周辺整備、吉川中学校建設など大きな財政負担を伴う事業が継続します。財政構造の弾力性を示す経常収支比率は94.4%、公債費による財政負担の度合いを示す公債費負担比率は11.8%、過去5年間の数値と比較すると経常収支比率は依然高い数値にあり、扶助費をはじめ経常経費の増加により、財政の自由度が狭まり、財政構造の弾力性が無くなってきています。依然として予断を許さない状況にあります。

平成29年度9月一般会計補正予算1億6117万9千円



市民交流センターおあしす等管理事業
雨どい、多目的ホール緞帳等修繕。
126万円



交通安全施設整備事業
吉川美南駅東口交差点スクランブル化等。
1474万4千円



道路維持補修事業
木売新田地区道路補修工事等。
1億90万円



用排水路整備事業
半割地区用排水路工事等。
1100万円



こども発達センター整備事業
旧庁舎敷地内園庭工事費。
380万円

来年7月までの運用開始を目指し、市内小中学校普通教室にエアコン設置

4年前、市は、エアコン設置の方針を決め、工事及び維持管理費などについて検討していくことで準備を進めていましたが、その後、効率の良い施設整備が最も適切であると判断し、大規模改修工事に合わせたエアコン設置をする方針を打出していました。しかしながら、昨今の夏は、酷暑と言われるような暑い日が続いており、児童生徒の健康保持を最優先に考え、来夏までに市内小中学校普通教室にエアコンの設置をしていくことになりました。工事の手法は、13年間のリース方式で、ランニングコストについては今後の調査で確定していきます。また、設置する部屋数は、普通教室219室、特別教室46室、管理諸室15室、更新個所82室の計362室になります。自民党吉川市議員団も毎年エアコン設置の要望を強く市に申し入れをしてきておりました。



**吉川敏幸議員 市内全小中学校に防犯カメラの設置を
現在の市内小中学校の防犯カメラ設置状況について伺う。**



何かあってからでは遅い。埼玉県警のデータでは、不審者による子供に対する声掛け事案において、人口1,000人当たりで見ると、近隣5市1町のうち平成28年では吉川市、平成29年では松伏町、平成30年7月までの時点では三郷市と吉川警察署管内が最も多くなっている。エアコンを大規模改修時に設置方針から市内小中学校全校一斉設置に方針を元に戻したのは子供たちの人命のリスクもさることながら、公教育の場において学習環境に差があってはならないという考えもあったと思う。また、文部科学省の平成27年度の調査では、全国の小中学校の約48%が防犯カメラを設置している。これらの状況を踏まえ、どう考えるか。

教育部長

美南小学校と東中学校に設置している。また、現在建設中である吉川中学校にも設置する予定である。今後は、機会を捉えて設置することは考えられる。

吉川駅・吉川美南駅周辺に喫煙所の整備を

WHOによれば、妊娠中の喫煙や受動喫煙は、流産、死産、子宮外妊娠、早産などの深刻な妊娠合併症のリスクを高め、新生児や乳幼児、子どもの健康にも影響するとされている。妊産婦や子供へ健康を害するリスクが非常に高い受動喫煙を防ぐため、たばこ税約5億円をある意味目的税化して、駅周辺の喫煙所を整備すべきでは。また、喫煙者の権利と自由を保護する考えを伺う。



健康長寿部長

健康増進法改正の趣旨を踏まえ、喫煙所の整備に関して検討していく。喫煙者に対してはきちんと喫煙できる場所の提供を求めていることは認識している。また、パパママ学級等においても喫煙等のリスクについて啓発していく。

熊本市・太宰府市・須恵町に視察に行ってきました



8月1日、熊本市へ城南スマートインターチェンジ(以下SIC)開通後1年が経ち、交通状況と整備効果を伺いました。開通後は徐々に利用台数も増え、6ヶ月後には約2,300台/日と計画交通量1,400台/日を約900台上回っており、輸送時間の短縮、ドライバー負担の軽減、物流の効率化など、城南工業団地自体の価値が高まり、企業の事業拡大の機運が上昇しているとのヒアリング調査で明らかになったとのことでした。当市においても三郷SICが市境に位置しており、雇用の拡大、企業誘致も期待出来る事業。三郷市と連携・協力して進めていかなければなりません。

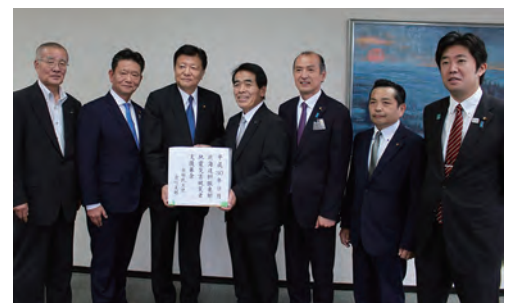
太宰府市へは公立のごじょう保育所を見学させていただきました。障がいを抱えた子供を含む全ての子供たちが互いの存在を認め合い、尊重し合い、成長していくことに重きを置かれていました。友達の荷物を持ってあげたり、車いすを押してあげたりする姿を見て微笑ましく思いました。障がいを持った子と同じ小学校に上がった子供たちは、そこでもいろいろな支援をしてくれているとのこと、人権意識や障がい者理解が極々自然に身についている感じでした。保育士確保の問題は太宰府市においても深刻を極めており、九州全域のみならず、中国地方の一部まで募集を掛けていると伺いました。当市におきましても、乳幼児の増加が見込まれており、今後の保育士確保が急務となっております。

須恵町では、熊本市と同様に須恵町SICの視察を行いました。平成16年社会実験からスタートした当事業は平成30年5月には、平均交通量が5,897台/日となり、SIC周辺には20を超える工場、商業施設、物流・倉庫、病院が建設、または建設予定となっております。また、須恵町及びその周辺地域の雇用の増加や定住人口の増加に伴い、地域振興・活性化に繋がっており、それには31人の土地所有者の積極的な協力によりまとまった土地が確保できなければ、この周辺開発は出来なかつたであろうとのことでした。



災害被災者支援募金のご協力ありがとうございました。

平成30年7月西日本豪雨非常災害・平成30年9月北海道胆振東部地震災害被災者支援募金活動を吉川駅前、吉川美南駅において実施しました。お母さんに手を連れられた小さなお子様から、おじいちゃん、おばあちゃんまで。中には走って家まで帰って募金を届けてくれた中学生の女の子もいました。幅広い世代の方々からご支援を頂き、西日本豪雨では80,557円、北海道胆振地震では118,450円の募金が集まりました。尚、この募金は自民党埼玉県支部連合会を通じて被災地に届けられます。お亡くなりになられた方々に心からお悔やみと、避難生活を送られている方々にお見舞い申し上げるとともに、復旧、復興を祈ります。ご支援、ありがとうございました。



松崎 誠
自由民主党吉川市議員団団長
議会運営委員長
文教福祉委員
江戸川水防事務組合協議会議員
4期目



加藤 克明
建設生活副委員長
吉川松伏消防組合協議会議員
2期目



吉川 敏幸
総務水道委員
議会広報副委員長
1期目



中嶋 通治
吉川市議会議長
総務水道委員
議会広報委員
東埼玉資源環境組合協議会 副議長
3期目